

第七十九回帝國議會 院 昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)外三件 委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十七年一月二十四日(土曜日)午前十一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 守屋 榮夫君
理事長 國三郎君 理事片山 哲君
理事泉 國三郎君 理事片山 哲君
沖島 鎌三君 川副 隆君

北村 文衛君 田代 正治君
津倉 龜作君 服部 英明君
三木 武夫君 渡邊玉三郎君
木檜三四郎君 井上 良次君
須永 好君 杉浦 武雄君
眞鍋 勝君

トシテ岸田正記君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ
大藏次官 谷口 恒二君
大藏省理財局長 山住 克巳君
保險院總務局長 歌田 千勝君
同日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十五年法律第六十九號中改正法律案

(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)
朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)
臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)
高等商船學校及商船學校ノ移管ニ伴フ一般會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)

付託議案審査終了ノモノヲ除ク
昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)(第一號)
朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)(第二號)
臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)(第三號)
高等商船學校及商船學校ノ移管ニ伴フ一般會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)(第四號)
改正法律案(政府提出)(第六號)
勞働者年金保險特別會計法案(政府提出)(第七號)
昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第八號)
昭和十五年法律第七號中改正法律案(造船局東京出張所ノ廳舎工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新築擴張ニ要スル經費ニ關スル件)(政府提出)(第九號)
昭和十三年法律第五十三號中改正法律案(印刷局搬運轉資本補足ニ關スル件)(政府提出)(第一〇號)
昭和十五年法律第七十九號改正法律案(陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特別ニ關スル件)(政府提出)(第一號)
海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)(第一二號)
帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出)(第一四號)
昭和十三年法律第二十二號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)(第一五號)

作業會計法中改正法律案(政府提出)
労働者年金保險特別會計法案(政府提出)
昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
昭和十五年法律第七號中改正法律案(造船局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル件)(政府提出)

昭和十五年法律第七十九號中改正法律案(陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル件)(政府提出)
海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)

帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出)
昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)

○守屋委員長 一言御挨拶ヲ申上ゲマス、昨日皆様方ノ御推薦ニ依リマシテ、委員長ノ職ニ就クコトニナリマシタ、不學短才デアリマスガ、皆様方ノ隔意ナキ御協力ニ依リマシテ、大過ナク職責ヲ盡シタイト考ヘマスカラ、ドウゾ宜シク御願ヒ申上ゲマス、本委員會ニ付託サレマシタ法律案ハ十三件ノ多數ニ上ツテ居ルデアリマス、昨年ノ審議ノ經過ヲ見マスト約一月掛ツテ居ルデアリマスガ、御承知ノヤウニ此ノ度ノ議會ハ大東亞戰爭完遂ノ特別ナ機會ニ當ツテ居リマスルシ、劃期的ナ議會トシテ議事ノ

審議ヲ圖ルベキモノト存ズルノデアリマスカラ、出來ルダケ早く此ノ委員會ノ審議ヲ終了致シマシテ、委員會ヲ通シテ國民ノ熱意ノアル所ヲ表ハシタイモノダト考ヘテ居ルノデアリマス、デスカラ政府ノ方ニ於キマシテモ審議上必要ナル資料ノ提出ハ成ルベク早くシテ戴キタイ、又委員各位カラモサウシタ資料ノ御求メガゴザイマシタナラバ、成ベク早く申出テ戴キタイと思ヒマス、兩々相俟ツテ審議ノ促進ヲ圖リタイト考ヘマス

本日ハ大藏大臣ニ故障ガアリマシテ、政府委員方御見エニナツテ居リマスカラ、先ヅ逐次法律案ニ對スル政府委員ノ説明ヲ聽クヤウニ致シタイト考ヘマス、左様取計ツテ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○守屋委員長 御異議ナシト認メマシテ左様取計ヒマス、是カラ昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)其ノ他十二件ノ法律案ヲ一括付議致シマシテ、逐次政府ヨリ趣旨ノ説明ヲ承ルコトニ致シマス

○谷口政府委員 本委員會ニ付託ト相成リマシタ昭和十五年法律第六十九號中改正法律案外十二件ニ付キマシテ、其ノ提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス

先ヅ昭和十五年法律第六十九號中改正法律案ニ付キ御説明申上ゲマス、從來支那事變ニ關シ功勞アリタル陸海軍軍人其ノ他ニ對スル行賞ハ、昭和十五年度以降緩急ノ順序ヲ考慮シ實行セラルルコトト相成ツテ居リマシテ、其ノ昭和十五年度分及ビ同十六年度分ト致シマシテハ、現行ノ昭和十五年法

律第六十九號ニ依リマシテ、總額六億三千二百七十萬圓ヲ限リ一時賜金トシテ交付スル公債ノ發行ヲ爲シ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマスルガ、今回文官其ノ他ノ公務員並ニ一般民間功勞者ニ對スル分及ビ今回ノ大東亞戰爭ニ際シ死歿シタル軍人軍屬ニ對スル分ヲモ見込ミマシテ、公債ノ發行限度ヲ五億四百萬圓増額シ、十一億三千六百七十萬圓トナシ、昭和十五年度乃至同十七年度分トシテ公債ノ發行ヲ要シマスルノデ、昭和十五年法律第六十九號中改正ニ關スル本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ朝鮮事業公債法中改正法律案ニ付キ御説明申上ゲマス、朝鮮總督府特別會計ニ於キマスル既定繼續費タル鐵道建設及ビ改良費、道路修築改良費、港灣修築改良費及ビ電信電話擴張及ビ改良費ノ追加額其ノ他一億六千八百七十餘萬圓並ニ鐵道建設及ビ改良費其ノ他ノ既定額中普通財源ニ依ル豫定デアリマシタモノノ内七千三十餘萬圓、合計二億三千九百十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計歳計ノ現狀並ニ其ノ經費ノ性質ニ願ミマシテ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタル所、港灣修築改良費ノ既定額ノ内昭和十六年度ニ於テ公債財源ニ依ル豫定ノモノニ決算上不用トナスベキモノナドガ八百餘萬圓アリマスル爲メ、差引二億三千二百二十萬圓ダケ現行ノ朝鮮事業公債法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ臺灣事業公債法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、臺灣總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費タル鐵道建設費ト、既定繼續費タル鐵道複線工事費及ビ停車場改良費ヲ改稱シタル鐵道改良費トノ追加額千二百四十餘萬圓ノ内、千二百二十餘萬圓並ニ昭和十七年度以降三箇年度間ニ互ル新規繼續費タル大甲溪開發事業費總額五千五百萬圓ノ合計六千六百二十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計歳計ノ現狀並ニ其ノ經費ノ性質ニ願ミマシテ之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタル所、鐵道建設費等ノ既定額ノ内昭和十六年度ニ於テ公債財源ニ依ル豫定ノモノニ決算上不用トナスベキモノナドガ七十餘萬圓アリマスル爲メ、差引六千五百五十萬圓ダケ現行ノ臺灣事業公債法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ高等商船學校及商船學校ノ移管ニ伴フ一般會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案ニ付キ御説明申上ゲマス、海軍行政機構ノ擴充強化ニ伴ヒマシテ、官立ノ高等商船學校及ビ商船學校ガ文部省所管ヨリ遞信省所管ニ移管セラレマシタ結果、東京高等商船學校、神戸高等商船學校、富山商船學校、鳥羽商船學校、大島商船學校、鹿兒島商船學校、廣島商船學校、粟島商船學校及ビ弓削商船學校ハ昭和十七年一月一日ヲ以テ學校及圖書館特別會計ヨリ一般會計ニ移シ替フルコトナリマシタガ、右移管ハ當分ノ内ノ處置デアリマシテ、將來ハ再ビ文部省所管ニ復歸スル豫定デアリマスノデ、昭和十六年十二月三十一日現在ノ學校及ビ圖書館資金ニシテ前述ノ高等商船學校及ビ商船學校ノ各學校毎ニ區分整理シテ居リマスル現金及ビ有價證券並ニ是等ノ學校ノ昭和十六年度ニ於ケル學校及ビ圖書

館特別會計法第八條ノ施行豫算ノ歳入殘餘ニ付キマシテハ、當分ノ間文部大臣ノ管理ニ屬セシメマシテ、學校及ビ圖書館資金トシテ當該學校毎ニ區分整理スルノヲ適當トスルコト、又ハ昭和十六年十二月三十一日現在ノ共通資金ニシテ東京高等商船學校及ビ神戸高等商船學校ノ用ニ供スル不動産ニ付キマシテハ、之ヲ資金ヨリ拂出シマシテ一般會計ノ所屬ト致シマスノヲ適當トスルコト等、一般會計ト學校及ビ圖書館特別會計トノ間ニ於テ生ジマスル種々ノ關涉事項ヲ定メマスル爲メ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ作業會計法中改正法律案ニ付キ説明申上ゲマス、大藏、商工兩省間ニ於ケル所管事務ノ調整ノ爲メ從來大藏大臣ノ管理ニ屬シマシタ「アルコール」專賣事業ヲ商工大臣ノ管理ト致シマシタノニ伴ヒマシテ、從來專賣局特別會計ニ於テ經理致シマシタ「アルコール」專賣事業ニ關スル歳入歳出ハ之ヲ專賣局特別會計ヨリ分離シマシテ、新ニ燃料局酒精部特別會計ヲ設置シ經理スルノヲ適當ト認メマシテ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ労働者年金保險特別會計法案ニ付キ説明申上ゲマス、昨年三月公布セラレマシタ労働者年金保險法ニ依リ政府ニ於テ労働者年金保險事業ヲ經營スルコトナルノデアリマスガ、本事業ノ經營ニ關スル歳入歳出ハ他ニ政府ガ經營致シテ居リマスル保險事業ノ場合ト同様、之ヲ一般會計ト區別經理スルノヲ適當ト認メマスル所、是ガ爲ニハ特別會計ヲ設置スルノ必要ガアリマスルノミナラス、又労働者年金保險法ノ施行ニ伴ヒマシテ、團體郵便年金ノ年金受取人ガ同

保險法ノ強制被保險者トナリマシタ場合等ニ於キマシテ、郵便年金特別會計ト本會計トノ間ニ關涉ガ起リマスノデ、之ニ關スル規定ヲ設クルノ必要ガアリマス關係上本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ付キ説明致シマス、昭和十七年度歳入歳出總豫算追加第一號ニ計上セル經費ノ財源ノ一部ト致シマシテハ、現行ノ道路公債法ニ依ル公債ヲ發行致シマスル外、歳入ノ不足ヲ補填スル爲メ十三億七千八百六十萬圓ヲ限リ公債ノ發行ヲ要シマスルノデ、其ノ起債ノ權能ヲ得ル必要ガアルノデアリマス、即チ昭和十七年度歳入歳出總豫算追加第一號ノ歳出總額二十四億六千二百八十八萬圓ニ對シ、普通歳入十億二千六百十餘萬圓並ニ借入金五千四百萬圓ヲ充當シテ尙ホ不足スル十三億八千二百六十餘萬圓ハ公債財源ニ依ルノ必要ガアルノデアリマシテ、此ノ中現行ノ公債法ニ依リ調達シ得マスル道路公債分四百十餘萬圓ヲ差引キ十三億七千八百六十萬圓ヲ限リ起債スルノ必要ガアルノデアリマス、尙ホ從來ノ例ニ依レバ昭和十七年度歳出豫算中若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サルル結果ニナルデアラウト存ゼラレマスル所、其ノ繰越額ノ財源タル公債ハ、必ズシモ之ヲ昭和十七年度内ニ於テ發行スルノ必要ハアリマセヌノデ、之ヲ其ノ翌年度ニ於テ發行シ得ルコトトスルノヲ適當ト認メマシテ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ昭和十五年法律第七號中改正法律案ニ付キマシテ説明申上ゲマス、從來ノ造幣局東京出張所ノ廳舎等ノ新營擴張ニ要スル經費ハ、昭和十五年度ヨリ昭和十七年度ニ互ル繼續費總額四百十五萬圓デアリマシテ、之ガ財源トシテ造幣局資金ノ中ヨリ同額ヲ一般會計ニ繰入ルルコトト相成ツテ居ルノデアリマスガ、今回造幣局ニ於ケル事業量ノ増大ニ伴ヒマシテ更ニ造幣局ノ工場等ヲ新設スルノ必要ガ生ジマシタル爲メ、之ヲ昭和十七年度ヨリ昭和十九年度ニ互ル繼續事業ト致シマシテ、之ニ要スル經費總額千八百八十七萬圓ト既定ノ繼續事業ニ付キマシテ、増額ヲ必要トスルニ至リマシタル經費三萬八千七百七十五圓トノ財源ニ充ツル爲メ造幣局資金ノ中ヨリ更ニ千八百九十萬八千七百七十五圓ヲ拂出シ、一般會計ニ繰入ルルコトトナス等ノ必要ガアリマスノデ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ昭和十三年法律第五十三號中改正法律案ニ付テ説明致シマス、印刷局ノ据置運轉資本ハ、現行ノ作業會計法第二條ノ規定ニ依ル百萬圓ト、昭和十三年法律第五十三號ニ依ル据置運轉資本ノ一時補足金七百萬圓トニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、印刷局ニ於ケル事業量ハ近年急激ニ増大致シテ參リマシタ關係上、從來ノ据置運轉資本ヲ以テシマシテハ、其ノ作業遂行上時ニ困難ヲ伴ヒマスルノデ、此ノ際前述ノ昭和十三年法律第五十三號ニ規定スル借入金ノ法定額ヲ千五百萬圓ニ増額致シマシテ、据置運轉資本ニ不足ヲ生ジマシタ場合ニ、一時補足シ得ベキ限度ヲ擴張スルノ必要ガアリマスル爲メ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

製造修理等ノ圓滑ヲ圖ルノ緊要ナルニ顧ミマシテ、曩ニ昭和十五年法律第七十九號ヲ制定シ、陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金融特別會計法及ビ海軍工廠資金融特別會計法ノ特例ヲ定メ、前述特別會計ニ屬スル材料、物品ノ賣拂ノ途ヲ拓イタノデアリマスガ、其ノ後支那事變ハ漸次發展シ遂ニ大東亞戰爭トナルニ及ビ、益々兵器、造船、造兵材料等ノ製造修理等ノ圓滑ヲ圖ルノ必要ガ増大シテ參ツタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ軍需品工場、事業場ニ材料物品ヲ供給シ得ルノハ、軍需品工場、事業場ニ於テ其ノ材料物品ノ一部ガ不足シ、陸軍造兵廠、陸軍製絨廠、陸軍航空工廠資金、海軍工廠資金ノ各特別會計ニ屬スル材料、物品ヲ供給スルニ非ザレバ當該製造又ハ修理ヲ完成シ得ザル場合ニ限定シテゴザイマシテ、實行上支障ガアリマス爲メ今回其ノ制限ヲ緩和シテ、廣ク軍需品工場、事業場ニ材料、物品ヲ供給シ得ルコトトシ、更ニ陸海軍用ノ施設ニ關スル土木、建築ノ工事ヲ營ム者ニ對シマシテモ、陸軍造兵廠、陸軍製絨廠、陸軍航空工廠資金又ハ海軍工廠資金ノ各特別會計ニ於キマシテ、其ノ材料、物品ヲ供給シ得ルノ途ヲ拓キ、兵器、造船、造兵ノ材料等ノ製造修理等又ハ陸海軍用ノ土木、建築ノ工事ノ圓滑ナル遂行ヲ圖ルヲ適當ト認メタ次第デアリマス、附則第二項ハ陸軍航空工廠資金ノ臨時補足ニ關スル規定デアリマス

次ニ昭和十五年法律第七十九號改正法律案ニ付テ説明申上ゲマス、支那事變ニ際シ陸海軍用ノ兵器、造船、造兵ノ材料等ノ製造修理等ノ圓滑ヲ圖ルノ緊要ナルニ顧ミマシテ、曩ニ昭和十五年法律第七十九號ヲ制定シ、陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金融特別會計法及ビ海軍工廠資金融特別會計法ノ特例ヲ定メ、前述特別會計ニ屬スル材料、物品ノ賣拂ノ途ヲ拓イタノデアリマスガ、其ノ後支那事變ハ漸次發展シ遂ニ大東亞戰爭トナルニ及ビ、益々兵器、造船、造兵材料等ノ製造修理等ノ圓滑ヲ圖ルノ必要ガ増大シテ參ツタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ軍需品工場、事業場ニ材料物品ヲ供給シ得ルノハ、軍需品工場、事業場ニ於テ其ノ材料物品ノ一部ガ不足シ、陸軍造兵廠、陸軍製絨廠、陸軍航空工廠資金、海軍工廠資金ノ各特別會計ニ屬スル材料、物品ヲ供給スルニ非ザレバ當該製造又ハ修理ヲ完成シ得ザル場合ニ限定シテゴザイマシテ、實行上支障ガアリマス爲メ今回其ノ制限ヲ緩和シテ、廣ク軍需品工場、事業場ニ材料、物品ヲ供給シ得ルコトトシ、更ニ陸海軍用ノ施設ニ關スル土木、建築ノ工事ヲ營ム者ニ對シマシテモ、陸軍造兵廠、陸軍製絨廠、陸軍航空工廠資金又ハ海軍工廠資金ノ各特別會計ニ於キマシテ、其ノ材料、物品ヲ供給シ得ルノ途ヲ拓キ、兵器、造船、造兵ノ材料等ノ製造修理等又ハ陸海軍用ノ土木、建築ノ工事ノ圓滑ナル遂行ヲ圖ルヲ適當ト認メタ次第デアリマス、附則第二項ハ陸軍航空工廠資金ノ臨時補足ニ關スル規定デアリマス

次ニ昭和十五年法律第七十九號改正法律案ニ付テ説明申上ゲマス、支那事變ニ際シ陸海軍用ノ兵器、造船、造兵ノ材料等ノ製造修理等ノ圓滑ヲ圖ルノ緊要ナルニ顧ミマシテ、曩ニ昭和十五年法律第七十九號ヲ制定シ、陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金融特別會計法及ビ海軍工廠資金融特別會計法ノ特例ヲ定メ、前述特別會計ニ屬スル材料、物品ノ賣拂ノ途ヲ拓イタノデアリマスガ、其ノ後支那事變ハ漸次發展シ遂ニ大東亞戰爭トナルニ及ビ、益々兵器、造船、造兵材料等ノ製造修理等ノ圓滑ヲ圖ルノ必要ガ増大シテ參ツタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ軍需品工場、事業場ニ材料物品ヲ供給シ得ルノハ、軍需品工場、事業場ニ於テ其ノ材料物品ノ一部ガ不足シ、陸軍造兵廠、陸軍製絨廠、陸軍航空工廠資金、海軍工廠資金ノ各特別會計ニ屬スル材料、物品ヲ供給スルニ非ザレバ當該製造又ハ修理ヲ完成シ得ザル場合ニ限定シテゴザイマシテ、實行上支障ガアリマス爲メ今回其ノ制限ヲ緩和シテ、廣ク軍需品工場、事業場ニ材料、物品ヲ供給シ得ルコトトシ、更ニ陸海軍用ノ施設ニ關スル土木、建築ノ工事ヲ營ム者ニ對シマシテモ、陸軍造兵廠、陸軍製絨廠、陸軍航空工廠資金又ハ海軍工廠資金ノ各特別會計ニ於キマシテ、其ノ材料、物品ヲ供給シ得ルノ途ヲ拓キ、兵器、造船、造兵ノ材料等ノ製造修理等又ハ陸海軍用ノ土木、建築ノ工事ノ圓滑ナル遂行ヲ圖ルヲ適當ト認メタ次第デアリマス、附則第二項ハ陸軍航空工廠資金ノ臨時補足ニ關スル規定デアリマス

次ニ昭和十五年法律第七十九號改正法律案ニ付テ説明申上ゲマス、支那事變ニ際シ陸海軍用ノ兵器、造船、造兵ノ材料等ノ製造修理等ノ圓滑ヲ圖ルノ緊要ナルニ顧ミマシテ、曩ニ昭和十五年法律第七十九號ヲ制定シ、陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金融特別會計法及ビ海軍工廠資金融特別會計法ノ特例ヲ定メ、前述特別會計ニ屬スル材料、物品ノ賣拂ノ途ヲ拓イタノデアリマスガ、其ノ後支那事變ハ漸次發展シ遂ニ大東亞戰爭トナルニ及ビ、益々兵器、造船、造兵材料等ノ製造修理等ノ圓滑ヲ圖ルノ必要ガ増大シテ參ツタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ軍需品工場、事業場ニ材料物品ヲ供給シ得ルノハ、軍需品工場、事業場ニ於テ其ノ材料物品ノ一部ガ不足シ、陸軍造兵廠、陸軍製絨廠、陸軍航空工廠資金、海軍工廠資金ノ各特別會計ニ屬スル材料、物品ヲ供給スルニ非ザレバ當該製造又ハ修理ヲ完成シ得ザル場合ニ限定シテゴザイマシテ、實行上支障ガアリマス爲メ今回其ノ制限ヲ緩和シテ、廣ク軍需品工場、事業場ニ材料、物品ヲ供給シ得ルコトトシ、更ニ陸海軍用ノ施設ニ關スル土木、建築ノ工事ヲ營ム者ニ對シマシテモ、陸軍造兵廠、陸軍製絨廠、陸軍航空工廠資金又ハ海軍工廠資金ノ各特別會計ニ於キマシテ、其ノ材料、物品ヲ供給シ得ルノ途ヲ拓キ、兵器、造船、造兵ノ材料等ノ製造修理等又ハ陸海軍用ノ土木、建築ノ工事ノ圓滑ナル遂行ヲ圖ルヲ適當ト認メタ次第デアリマス、附則第二項ハ陸軍航空工廠資金ノ臨時補足ニ關スル規定デアリマス

法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ海軍工廠資金會計法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、現行ノ海軍工廠資金ハ海軍工廠資金會計法第二條ノ規定ニ依ル分五千萬圓、及ビ海軍工廠資金臨時補足ニ關スル法律ニ依ル分三千万圓ト相成ツテ居ルノデアリマスガ、海軍ノ造船及ビ造船ノ工廠ニ於ケル事業量ノ激増ニ伴ヒマシテ、海軍工廠資金會計ニ於ケル材料物品ノ持越高方著シク増加致シマシタル結果、從來ノ資金額ヲ以テシマシテハ、本會計ヨリ海軍ノ工廠ニ對シマシテ適時的確ニ所要材料物品ヲ供給スルコト頗ル困難トナリマシタル狀況ニ顧ミマシテ、本資金ノ法定額ヲ一億圓ニ増額シ、漸次一般會計ヨリ編入スルコト致シマスルト共ニ、其ノ繰入ニ代ヘ

臨時軍事費ヲ以テ購入致シマシタル材料物品ヲ本會計ノ材料物品ニ組入レ、海軍工廠資金ノ増額ニ充テ得ルノ途ヲ拓クノ必要ガアリマスノト、當分ノ内軍ノ需要充足ノ爲メ必要アル場合ニハ海軍工廠資金ヲ以テ海軍工廠資金會計法第一條ノ規定ニ依ル材料物品以外ノ材料物品ヲ貯蓄シ得ルコト致シマス、必要ガアリ、又海軍工廠資金ニ臨時ニ不足ヲ來シマス時ハ、現行ノ臨時補足ノ限度三千万圓ノ外千万圓ヲ限リ臨時補足シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ帝國鐵道會計法中改正法律案ニ付キ御説明申上ゲマス、鐵道施設ノ整備擴充ノ必要ニ備ヘ、將來ニ於ケル鐵道改良費ノ平準化ヲ圖ル爲メ新タニ帝國鐵道特別會計ニ鐵道改良準備金制度ヲ設クル必要ガアリマスノト、新タニ陸運統制ニ要スル經費ヲ本會計ノ收益勘定ノ所屬トスルヲ適當ト認

メマシタノト、又交通輸送力ノ整備ヲ圖ルノ緊要ナルニ顧ミマシテ、本會計ニ於テ他ノ委託ニ應ジ、鐵道輸送等ニ關スル機械器具等ノ製作修理又ハ調達ヲモ爲シ得ルコトト致シマス等ノ爲メ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ昭和十三年法律第二十三號中改正法律案ニ付キ御説明申上ゲマス、昭和十三年法律第二十三號ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及ビ樺太廳ノ各特別會計ヨリ其ノ租稅收入又ハ煙草專賣收入ノ一部ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ相成ツテ居リマスルガ、今回新タニ朝鮮總督府特別會計ニ於ケル地稅、營業稅、資本利子稅、相續稅及ビ樺太廳特別會計ニ於ケル相續稅ノ昭和十七年度以降ノ増徴ニ因ル

増收額、關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及ビ樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル廣告稅、馬券稅、關東局及ビ臺灣總督府ノ各特別會計ニ於ケル清涼飲料稅、關東局特別會計ニ於ケル骨牌稅及ビ朝鮮總督府特別會計ニ於ケル電氣瓦斯稅ノ創設ニ因ル收入額竝ニ關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及ビ樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル通信料金、朝鮮總督府、臺灣總督府及ビ樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル鐵道運賃及ビ臺灣總督府特別會計ニ於ケル自動車運賃ノ改正ニ因ル昭和十七年度以降ノ增收額ノ一部ヲ、毎年度豫算ノ定ムル

所ニ依リ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ致シマシタル所、是ガ會計上ノ處理ニ關シマシテ、昭和十三年法律第二十三號中改正ヲ必要ト致シマスルノデ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

以上十三件ノ法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上速カニ御贊成アランコトヲ希

望致シマス
○守屋委員長 政府ニ對シテ參考資料ヲ御求メニナル方ガゴザイマスレバ、此ノ際御述バテ願ヒマス——本日ハ是ニテ散會致シマシテ、次會ハ二十六日ノ午後一時カラ開會スルコトニ致シマス
午前十一時四十六分散會

昭和十七年一月二十四日印刷

昭和十七年一月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局